

要事前申込

第2回「次世代観光リーダー育成に向けたワークショップ」 ～ルーツリズムにおける持続可能な開発に向けたアクション～

(大学生・大学院生(他大学歓迎!）、若手実務家の皆様の応募を歓迎します。)



【日時】2020年2月26日(水)～28日(金) 【場所】和歌山大学(和歌山市栄谷930番地)

目的:高齢化・人口減少・農業・工業の衰退等といった課題を抱える日本の非都市部の活性化に向け、観光をいかに活用しうるのか、SDGsの観点も踏まえ、実践的なアクションを考察します。

<使用言語:英語>

このような方におすすめ

ワークショップについて



「スローツリズム」による地域開発
ー地域コミュニティの強靭性、キャパシティ、アイデンティティに注目した創造的アプローチについて学びたい方



グループワーク、現地視察を通じて、
観光についての実践的な知識を深めたい方



観光がSDGsの達成にどのように貢献するか
学びたい方

プログラム(3日間)

●シンポジウム(1日目)

UNWTO駐日事務所、和歌山大学、
JICA、JNTO(日本政府観光局)、農業
法人株式会社秋津野による講義

●現地視察(2日目)

ユネスコ世界遺産:熊野古道

●グループワーク(3日目)

【応募方法】

⇒ 定員に制限があるため、お早めにお申し込みください。

⇒ 下記QRコードから申込用紙を記入し、1月27日までにftlworkshop@unwto-ap.orgまで御提出ください。

(応募していただいた方には、申込用紙の提出から2週間以内にメールにて御連絡します。)

※参加者には、宿泊施設の候補を御紹介させていただきます。

【お問い合わせ】

国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所 鈴木・夏秋

電話:0742-30-3880

Email:ftlworkshop@unwto-ap.org

国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所、和歌山大学及び国際協力機構(JICA)共催
観光庁、和歌山県後援



<https://unwto-ap.org/event/workshop/>



第2回「次世代観光リーダー育成に向けたワークショップ」シンポジウム ～ルーラルツーリズムにおける持続可能な開発に向けたアクション～

2020年2月26日(水) 13:00～16:30 (受付12:30～)

シンポジウム(一般公開)

PROGRAM

国際観光の動向とルーラルツーリズムについて

－ 国連世界観光機関駐日事務所 国際課長 アルシンダ・トラウエン

JICAの観光開発協力とSDGs達成への貢献

－ 国際協力機構(JICA) 産業開発・公共政策部 民間セクターグループ 課長補佐 児玉 顕彦

インバウンド推進と地域振興

－ 日本政府観光局(JNTO) 理事長代理 亀山秀一(前UNWTO事務局長アドバイザー)

日本のグリーンツーリズム(農業観光)について(仮)－和歌山大学食農総合研究所 特任助教 植田 淳子

地域資源を活用した観光開発－農業法人株式会社秋津野

パネルディスカッション: 持続可能な開発のための観光マネジメント－未来に向けたアクション

※講師は決定次第、順次以下ウェブサイトで更新を予定しています。



2020年2月27日(木) 9:00～18:00

グループワーク①及び現地視察(グループワーク応募者のみ)

和歌山県内、田辺地域、熊野古道

2020年2月28日(金) 9:00～17:00

グループワーク②(グループワーク応募者のみ)

PROGRAM

ルーラルツーリズムにおける国際的な事例－UNWTO駐日事務所

ルーラルツーリズムと持続可能な開発－和歌山大学

現地視察先に関する講義

(和歌山県におけるスローツーリズムによる地域開発、熊野古道、サイクリングツーリズム、ガストロノミーツーリズム、スピリチュアルツーリズム等)

グループワーク

(コミュニティの課題、SWOT分析、ピッチテスト)

⇒ 現地視察及びグループワークの参加者は、プログラム全体(2020年2月26日～28日)に参加する必要があります。

ふるってのご参加お待ちしております。